

# 言わしてごしない EPISODE 2

最近よく思う事がある。自分が入会したころに比べ、生き生きとした会員が少なくなってきたように思う。それは何故かと自分なりに考えてみると、個性の固まりのような会員が少なくなってきたからだと思う。自分が入会した数年前には中央会が生き生きしていた。しかし、最近では中央会活動も朝日町でも中途半端に活動している会員が多いのではないと思う。その差が今の中央会が元気がなくなりつつある原因ではないか…。今の中央会が元気を取り戻すには、どうしたら良いかを自分なりに考えてみた。

例えば入会が浅い会員は、まず名前を覚えてもらう事。自分を例にあげると入会月より一年間で3回しか朝日町通いを休まなかった。これはてきめんにあらわれ、会員のほとんどに名前をすぐに覚えていただいた。これは極端ですが、これくらいした方が良いのではないかと思います。

(あまり一年目にやり過ぎて、最近では金欠病になっているしまりのない会員の独り言でした…)

(居酒屋の借金終わった会員より)

## コピーをして名簿にお貼り下さい

**福庭 貴志** A型  
代表取締役  
南タイヤ館米子  
タイヤ販売  
〒683-0004 米子市上福原5丁目15-52  
TEL 0859-23-6770 FAX 0859-23-6773

H14.8人会  
(推薦者) 武海 富雄  
〈自宅〉米子市皆生3丁目12-34 A203  
〒683-0003 S.45.6.25 TEL.0859-31-1528

【コメント】  
このたび8月より青年中央会に入会させていただくことになりました福庭貴志でございます。米子市上福原で南タイヤ館米子を営んでおります。諸先輩方との交流を通して、少しでも立派な経済人になれるよう勉強して行きたいと考えております。また、中央会の諸活動にも積極的に取り組んで行く所存でございます。未熟者ではございますがどうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

## 9月役員会報告

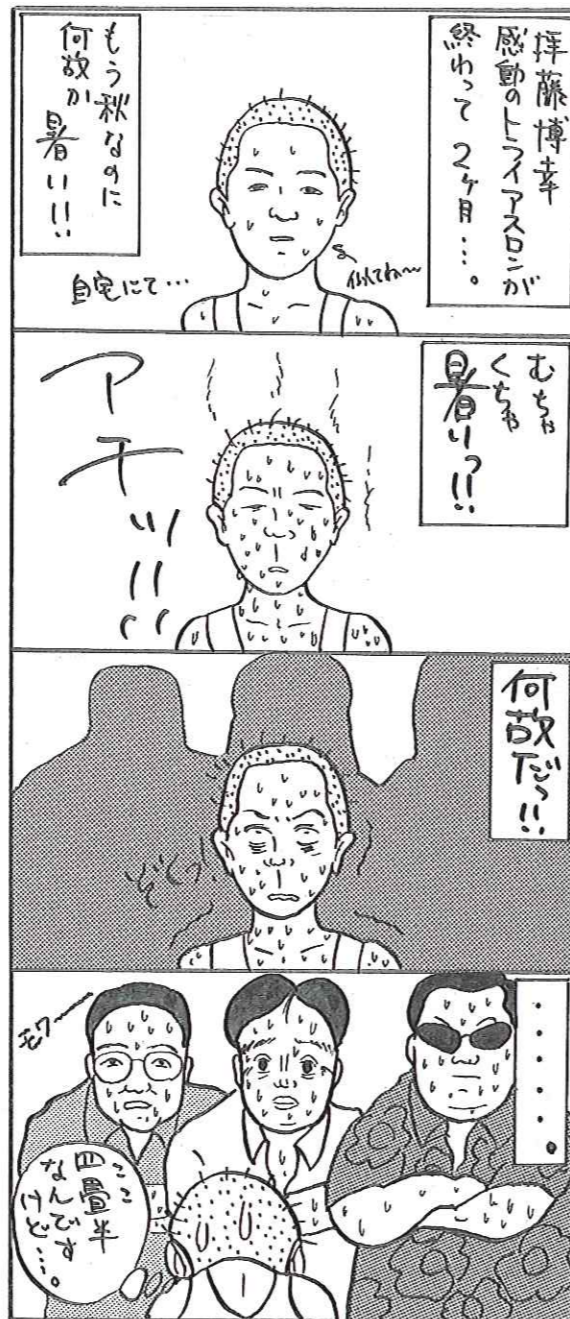
新旧役員会が平成14年9月2日(月)、米子食品会館に於て開催されました。当日の主な議題は、次の通りです。

- (1) 9、10月例会開催の件
- (2) OB交流会開催の件
- (3) その他

## 9月例会案内

とき 平成14年9月17日(火) 18:30~  
ところ ホテルサンルート米子  
講師 鳥取県企画部情報政策課長 岡村俊作氏  
演題 「鳥取県情報ハイウェイの現状と未来」

# 連載? 中央ふりーうえい



●●● とりぎん松本の **ビビビ通信** ●●●

ウルトラマンは我々のヒーローでした。変身し活躍する。悪役も秘密基地に身を潜め地球征服をもくろむ。子供の頃流行った遊びに「秘密基地ごっこ」があったのを墓参りでの同級生との出会いで思い出しました。喧嘩をする為ではなく「たまり場」といったところでしょうか。何かとそこに集まる。それが農家の納屋、体育館の床下などと変遷するが共通して薄暗く音のしない、出入禁止の場所でした。集まるだけで興奮し、普段話せない事も言えたものです。好きな人の名前を言ったり、ゴルフ練習場からボールを拾い隠しておいたのも「秘密基地」でした。今でもその習性は変わってないようです。私はふと映画館に行きます。暗い中知らない人ばかり。時間も関係なく、安堵と緊張の混在する不思議な空間です。夜な夜な釣りに行くのも同じ理由かも知れません。仕事に追われる大人になりましたが、久し振りに空想に満ちた子供時代を思い出しました。

# Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 門路浩二 編集責任者 夏野慎介 印刷所 東京印刷社

## 8月度例会報告

平成14年8月19日 米子国際ホテルにて8月度例会が開催された。  
まず、門路会長より、「先日晴天の中で行われたトリアスロンの成功が、中央会の皆様、家族の皆様、OB会員の皆様のご協力によって無事大成功に終わり、新たな感動を残し、会長として改めて中央会会員の団結と力を感じた。」と挨拶があった。  
報告事項としては、青経連で市町村合併推進に向けて8月19日に米子市役所、20日に境港市、日吉津村に、要望書を提出する旨が報告された。  
続いて新入会員の福庭貴志君のバッチ授与式と挨拶が行われた。  
その後、大山寺塔頭(たっちゅう)円流院住職である大館宏雄(おおだてこうゆう)先生により、「大山うら話」と題した講演をいただいた。大館住職は、会員の同年代として、こころの話、大山の観光の話、子供たちのことなど幅広い内容で話をされた。特に、お盆の由来の話では、釈迦の弟子目連尊者が、やさしかった母親が亡くなり苦しんでいる姿を見て、釈迦の教えを乞いお供えをして供養したのが8月15日であり、この日を境に、先祖にお供えをして供養するのがお盆の由来であるとか、大山寺開山の由来として、金色の鹿を射止めた出雲の獵師俊方が、鹿に姿を変えていた地蔵尊に諭されて、長い間の殺生を悔い改めて地蔵尊を祀ったという話が興味をひいた。  
また、大山の子供を育てる会会長・大山小学校PTA副会長・保護司としての立場を通して、この3~4年心の問題を相談にこられる方々が大変増えた事を取り上げられ、特に子供の心の問題を相談される親御さんとの話の中で、家庭内での会話、核家族化の問題において、親子の会話の大切さを強く説かれた。最後に剃髪の話があり、この何年か前から御自身も剃髪されており、「修行中に恩師から言われていた意味がわかるようになり、剃髪してから、何処にいても、どんな時も、自分が僧侶であると外からも自身も自覚でき、常に意識することが自分の修行になっている。」との話は、自分たちも、社会において常に自分が何をすべきか、何を学ぶべきか意識することの大切さを教えられた。最後に中津尾副会長の謝辞で締めくくり8月度例会を終了した。

(景山 靖二)



## 新OB会長あいさつ

**中村昌哲**  
(第13期会長・第14期卒)

最近青年中央会のメンバーは「TSC」のバッチに誇りと自信を持っているとよく耳にします。私共OBも大変嬉しく思いますし、卒業してから14年経った今日、現役の諸君にここまで活躍され、会を発展された事に対し敬意を表すものであります。  
昭和50年9月西部青年中央会が発足し、入会いたしました。廻りを見れば恐ろしくらい大物の人達、又、年配の人達、例会、委員会でも一言も発言出来ない雰囲気でありました。とにかく真面目に出席すれば何かが会得出来る。そんな気持ちで何年か過ぎました。私の場合、職業的には生産場所より半径50キロの範囲での商売、それこそ「井の中の蛙」でありました。先輩方の話を聞いて今のままでは駄目だ、もっと異業種の勉強をさせてもらい自分自身、会社にも良いことは取り入れなければと痛感致しました。そして今日の私があるのだと感謝しています。  
昭和61年、11年経過した時、二度目の副会長に就任させて頂いた折、10月に父親とチャーターメンバーである兄貴を亡くしました。一週間に二度葬儀を行った訳であります。丁度その時、中央会の全国大会が四国で開催されました。事務局の連絡で予定を繰り上げ一日早く全員帰ってきて手伝っていただきました。一人一人の会員の為こんな心遣いをしてもらい感謝の気持ちは一生忘れることは出来ません。西部青年中央会は私共OBを大切にしてくれる素晴らしい会であり他にはないと思います。  
「いつも一生懸命、どんなことも全力で」先輩から受け継いだ言葉。厳しい経済情勢の中で、今こそより一層門路会長を中心に結束し全員力を合わせ、足元を見つめお互いに切磋琢磨して行かれることを心より期待いたします。  
まさか私がOBの会長とは、大変重圧を感じております。6代目のOB会長として現役の会員に少しでも役立つよう努力していく所存であります。どうかよろしくお願い致します。

# 境港地区OB交流会開催



去る8月3日、境港地区に於けるOB交流会が新OBの卒業式を兼ね、当地境港ピアガッセにて開催された。本会は境港地区の恒例行事として、毎年数多くのOBにご参加いただきながら、親睦と結束を深めるのに重要な役割を果たしている。今年も新OBを含める26人のOB会員と現役会員50名、総勢76名の参加のもと盛大にとりおこなわれた。

冒頭、門協会長・手島敏弘OBの挨拶に引き続き、越河勇OBの乾杯の音頭で開会、終始和やかな雰囲気の中、現役会員・OB会員入り乱れての懇談が繰り広げられた。

途中、新入会員3名の自己紹介の後、いよいよ新OBの卒業式へと進行。奥森隆夫OB・北野実OB・角好明OB・中澤伸OB・浜義徳OB・堀田収OBの6人に、岩田直前会長と当会のマドンナ桶村会員より、記念品と花束がそれぞれに贈呈された。

続いて新OB一人づつから謝辞をいただき、加えて長きにわたる中央会での思い出が語られ、目頭の熱くなるような惜別のムードに満たされたか、と思いきやそれも束の間、手島敏弘OBからOB会への入会承認が高らかと宣告され、会場は歓喜と動揺(?)の渦に巻き込まれたのであった。

最後を岡田端OBの一本締めで締めくくり、皆が興奮冷めやらぬまま会場を後にした。

(堀江 則夫)



# 8月度委員会報告

**きずな委員会**  
平成14年8月5日(月) 於：米子食品会館 出席者/13名  
内容/①年度運営計画への質問ならびに確認  
②「人・企業のきずな」チームと「家族・女性のきずな」チームに分かれてのグループミーティング  
(講師選定と内容選定)

**情報メディア委員会**  
平成14年8月7日(水) 於：(株)インサイト 出席者/11名  
内容/①9月担当例会の打合せ  
②協業サイトの今後

**政治行政委員会**  
平成14年8月7日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/10名  
内容/①新入会員自己紹介  
②委員会活動方針説明

**モラル委員会**  
平成14年8月7日(水) 於：ホールサムインかいけ 出席者/11名  
内容/講師講演  
講師：盛岡敏人先生  
演題：子供の教育について

**国際交流委員会**  
平成14年8月9日(金) 於：ワインセラー葡萄屋 出席者/10名  
内容/①委員会開催の日程  
②年間行事担当割り付け  
(海外進出企業班・外国人との文化交流班・会員増強班)

**経営委員会**  
平成14年8月6日(火) 於：米子食品会館 出席者/7名  
内容/①トライアスロンボランティアについて  
②委員長方針説明  
③年間スケジュール

**広報委員会**  
平成14年8月5日(月) 於：米子空港ビル 出席者/11名  
内容/①ハンサム8月号担当割  
②カメラ、ビデオ撮影講習

**総務委員会**  
平成14年8月6日(火) 於：米子食品会館 出席者/14名  
内容/①トライアスロンボランティアについて  
②7月総会・懇親会について  
③中央会備品リスト作成について

# 第8回 オールジャパンジュニア トライアスロンin岸本

さる8月18日岸本総合スポーツセンターにて、「第8回オールジャパンジュニアトライアスロンin岸本」がおこなわれ、まだ皆生トライアスロンの余韻が残る中、ボランティア・選手として多数の中央会会員・OB・家族が参加した。

今回選手として、野嶋、後藤秀之、田中康裕、中原各会員と和田OBのご家族・本人が参加し、それぞれ好成績を収めた。

これは、まったく個人的な感想であるが、小学生を中心とした選手達の活躍を見ると、「自分のだぶついた体は一体なんなんだ!!」と思わずにはいられない。(かといって、それから体を鍛える行動をしないのも、なんか寂しいものがあるが…)

ボランティアや役員・選手として参加された会員・OB・ご家族の皆さん、大変お疲れ様でした!

(植田 寿雄)



# What's 中央会 第2回「委員会費の謎」

今回は「委員会費」の事について、触れてみようと思います。

「委員会費」はどういう形で分配されるか?ちょっと下世話かもしれませんが、おそらく会員の半数位の方は御存じないのではないのでしょうか。私もよく知らない為、事務局の長老!?!に伺って参りました。かいつまんで申しますと、当初は年間固定型タイプI(人数に関係無く一律定額)次に年間固定型タイプII(人数×単価)そして半期固定型(前期人数×単価+後期人数×単価)さらに半期変動型(前期人数×単価+後期人数×単価×前期出席率)に変わって来ています。現在(去年迄)は、この半期変動型で各委員会に委員会費が分配されています。平成7年度からこのような分配方式が取られるようになりました。(注:委員会費については毎年役員会で決定されます。)

そうです!前期の委員会出席率により後期の委員会費が違って来ます。委員会にあまり出席されない方は出席されている方に、委員会での役割面だけではなく、会費の面でも大なり小なり負担を掛けている訳です。かと言って、前期だけ出席率を上げて後期は休憩じゃ、愚の骨頂ですよ!

(解説・取材「真面目だけが取り柄の高村」)